

## 慶應義塾大学学術情報リポジトリ

## Keio Associated Repository of Academic resouces

Title	ネットワーク戦略と企業家精神
Sub Title	
Author	増田晴美(Masuda, Harumi) 奥村昭博
Publisher	慶應義塾大学大学院経営管理研究科
Publication year	1992
Jtitle	
Abstract	
Notes	複写許諾が必要
Genre	Thesis or Dissertation
URL	<a href="http://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO40003001-00001992-0953">http://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO40003001-00001992-0953</a>

学生氏名

増田 晴美

主査 奥村 昭博

副査 青井 倫一

森川 英正

所属

奥村 昭博 研究室

## ネットワーク戦略と企業家精神

近年、情報が加速度的に進む社会の中に於て、企業は、その不確実性に対処し、かつ競争優位性を確保していかなければならない。このような経営環境の下に於て、特に大企業に比べて経営資源の限られている中小企業にとっては、“ネットワーク戦略”により各々の弱点を補強し合い、相互啓発とシナジー効果の発生により、企業の規模を越えて競争優位性を築くことができると考えられる。

そこで、水平的、自律的、そして互酬的な特質を持つネットワーク内の企業関係に於て、効果的なネットワークを築く要因とはいったい何なのかを考えるべく、ネットワーク戦略をとる企業、そして地理的緊密性の中での情報の密集性とネットワークの形成についてインタビュー調査を行った。

そこで発見されたものは、ネットワークの中での“見えない資産”の交換・結合のみならず、ネットワークの編集者としての“ネットプルヌーア”の必要性である。

“ネットプルヌーア”とは、ネットワークの中におけるアントルプルヌーアの新しいスタイルであり、中小企業が“小さな大企業”として不確実な経営環境に対応してゆくためのネットワークを、機能的かつ実質的に推進させてゆく中心人物として、更に21世紀のネットワーク戦略の担い手として大きな意味を持つものと考えられる。

したがって、本研究の意義は、この“ネットプルヌーア”の導出にあると言える。